

JVA REPORT

10

'13 OCTOBER
NO.160

MAIN REPORTS

- 一般社団法人日本映像ソフト協会 役員名簿
- 一般社団法人日本映像ソフト協会 組織図
- 2013年上半期統計調査結果を発表

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW

一般社団法人 日本映像ソフト協会 会報

〒104-0045 東京都中央区築地2丁目12番地10号(築地MFビル26号館3階)

電話:03-3542-4433 FAX:03-3542-2535 <http://www.jva-net.or.jp>

編集・発行 一般社団法人 日本映像ソフト協会

2013年10月10日発行



一般社団法人日本映像ソフト協会 役員名簿	2
一般社団法人日本映像ソフト協会 組織図	3
主な会議、委員会の紹介	3
2013 年上半期統計調査結果を発表	6
臨時総会及び第 326 回臨時理事会、第 327 回定例理事会開催報告	9
違法対策活動報告	9
不正商品対策協議会 広報啓発ポスターを作成	10
コンテンツ海外流通促進機構 インドネシア知財総局長ら来日	10
主要各国の映画、ビデオソフト、映像配信市場のデータ	11
リレーエッセイ ⑩③	13
日誌に見る協会の動き	13
月間売上統計(7 月、8 月)	14
JVA 事務所移転のお知らせ	14

一般社団法人 日本映像ソフト協会 役員名簿

去る9月3日（火）に開催された臨時総会において今井環理事（株）NHKエンタープライズ）と柏木登理事（株）パップ）が就任しました。10月現在の役員は以下のとおりです。

理 事

（五十音順・2013年10月現在）

 代表理事会長 きりはた としはる 桐畑 敏春 (株)ポニーキャニオン 代表取締役社長	 代表理事副会長 しまたに よししげ 島谷 能成 東宝(株) 代表取締役社長	 専務理事 ごとう たけろう 後藤 健郎 (一社)日本映像ソフト協会 事務局長
 いのうえ しんいちろう 井上 伸一郎 (株)KADOKAWA 代表取締役専務	 いまい たまき 今井 環 (株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長	 おおたに のぶよし 大谷 信義 松竹(株) 代表取締役会長
 かしわぎ のぼる 柏木 登 (株)パップ 代表取締役社長執行役員	 かわい しろう 川合 史郎 20世紀フォックス ホームエンターテイメントジャパン(株) 代表取締役社長	 かわしろ かずみ 川城 和実 バンダイビジュアル(株) 代表取締役社長
 さとう なおき 佐藤 直樹 日活(株) 代表取締役社長	 しげむら ひろふみ 重村 博文 キングレコード(株) 代表取締役社長	 たかぎ ジム 高木 ジム ジェネオン・ユニバーサル・ エンターテイメントジャパン(同) 最高経営責任者兼社長
 たけうち しげかず 竹内 成和 エイベックス・ マーケティング(株) 代表取締役会長	 なつめ こういちろう 夏目 公一朗 (株)アニプレックス 代表取締役	 ひやくたけ こうじ 百武 弘二 (株)ショウゲート 代表取締役社長
 まつおか ひろやす 松岡 宏泰 東宝東和(株) 代表取締役社長	 まみや とらまつ 間宮 登良松 東映ビデオ(株) 代表取締役社長	 もりた まさお 盛田 昌夫 (株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント 代表取締役
 よだ たつみ 依田 巽 ギャガ(株) 代表取締役会長兼社長CEO		

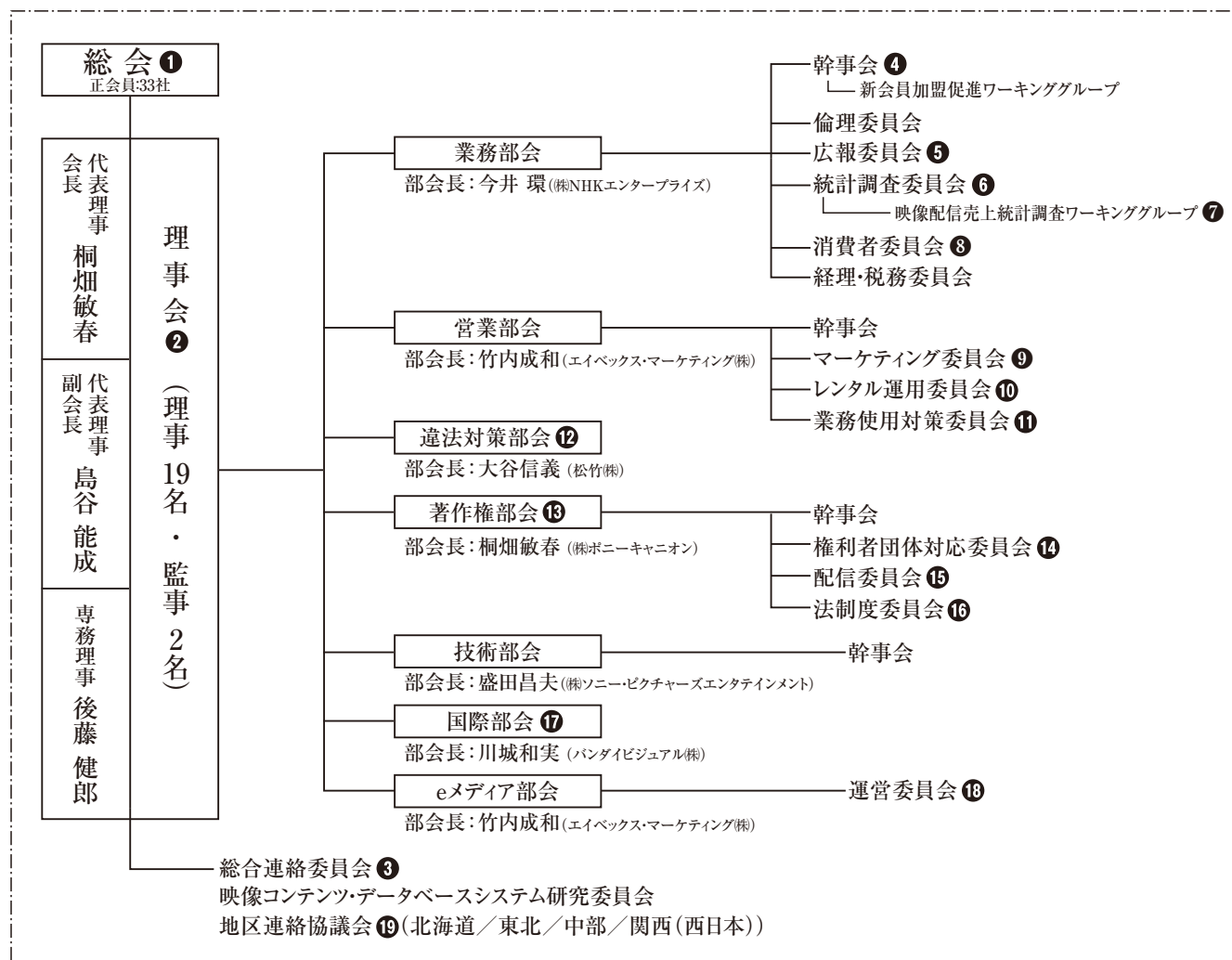
監 事

 はやし さぶろう 林 三郎 (株)第一興商 代表取締役社長	 まえだ てつお 前田 哲男 染井・前田・中川法律事務所 弁護士
---	---



一般社団法人 日本映像ソフト協会 組織図

2013年10月 現在



主な会議、委員会の紹介

2013年10月現在、当協会の組織図は上のようになっています。
主な会議、委員会の活動内容につきご紹介します。

① 総会

議長：桐畑敏春代表理事会長（株）ポニーキャニオン）

定款に定める事項の他、当協会の運営に関する重要事項を決議する機関。通常総会は事業年度終了後3ヵ月以内に開催され、前年度の事業報告、収支決算、次年度の事業計画、収支予算等についての決議の他、理事・監事の選任を行う。

② 理事会

代表理事会長：桐畑敏春（株）ポニーキャニオン）

役員：21名（代表理事会長を含む）

総会の決議した事項の執行に関することや、総会に上程すべき事項について検討、決議する。その他、総会の決議を要しない業務の執行に関する事項についても決議する。開催は原則として、毎月第1火曜日。

③ 総合連絡委員会

委員：52名

全会員社から1名の委員によって構成され、理事会ならびに各部会・委員会の活動報告や、関係官庁、関係団体からの連絡事項等について報告している。また、各部会から上程された事項に関し、各会員社の意見をフィードバックし協議を行うこともある。開催は原則として毎月第2火曜日。

④ 業務部会幹事会

部会長：今井 環（株）NHKエンタープライズ）

幹事：21名

理事会に上程する重要事項について協議をしている。開催は原則として第4木曜日。また本部会の中に「新会員加盟促進ワーキンググループ」を設置し、適宜会合を開催している。

⑤ 広報委員会（業務部会）

委員長：田中 勇（キングレコード株）

委員：5名

年に6回発行される協会会報誌『JVA REPORT』や、年1回発行されている一般への広報誌『JVA BOOK』、当協会のホームページ（<http://www.jva-net.or.jp>）などを監修している。開催は不定期。

⑥ 統計調査委員会（業務部会）

委員長：八十河 恒治（株ポニーキャニオン）

委員：7名

当協会が実施している各種マーケット調査についての企画および調査結果の検分を行っている。ビデオソフト流通から見た場合に「川上」となるメーカーの状況については、正会員を対象としたビデオソフトの毎月の出荷状況を調査し「月間売上統計速報」と、月間の速報で生じる誤差や修正を整理し、半期ごとに改めてビデオソフトの出荷状況を調査する「半期統計調査」（3月と9月に発表）がある。

また「川中」にあたるビデオレンタル店の経営状況を調査する「ビデオレンタル店実態調査」（毎年6月調査、10月発表）、さらに「川下」であるビデオソフトユーザーの消費動向や消費者レベルにおける市場規模の推計を目的とした「ビデオソフト市場規模及びユーザー動向調査」（1月調査、4月発表）を実施している。特に本年は、「ビデオソフト市場規模及びユーザー動向調査」については、DEG（デジタルエンターテイメントグループ）との合同調査を予定しており、パッケージソフトのみならず映像配信ユーザーの動向についても調査をしていく計画となっている。開催は不定期。

⑦ 映像配信売上統計調査ワーキンググループ（業務部会）

メンバー：5名

本年度から、当協会正会員社を対象に映像配信による売上を把握するべく調査を開始することとなり、調査実施に向けて定義づけや調査フォーマット等の検討をするべくワーキンググループが設置された。当ワーキンググループでの検討結果を踏まえ、7月度より調査開始となったが、今後も調査を実施していくうえで各社から寄せられる疑問等について整理を行い、フィードバックしていく作業を担当する。開催は不定期。

⑧ 消費者委員会（業務部会）

委員長：赤松 恵子（株ソニー・ピクチャーズエンタテインメント）

委員：22名

DVDビデオやBlu-ray Discなどの再生互換性に関する情報交換や、各社のお客様相談窓口寄せられた利用者の声の中で、業界として取組むべき課題などを検討している。

会議開催は不定期に年4回程度。

⑨ マーケティング委員会（営業部会）

委員長：小林 直樹（東映株）

委員：27名

主にレンタル市場の整備や活性化のための施策を検討。今年は、eメディア部会運営委員会とともに、5年ぶりに米国デジタルメディアを含むビデオ市場の視察ツアーを企画、実施する。会議は、毎月第1水曜日に開催している。

⑩ レンタル運用委員会（営業部会）

委員：10名

「個人向けレンタルシステム」の運用を行う。新しいビジネスモデルなど、レンタルシステムの変更や現行の規定に当てはまらない問題などを検討する。また、ビデオレンタルシステム店を開業する際に配布する「個人向けレンタルシステムの手引き」の監修を行う。開催は不定期。

⑪ 業務使用対策委員会（営業部会）

委員長：齋藤 剛（東映株）

委員：21名

業務使用対策委員会の発足は1987年だが、それより以前のビデオソフトの誕生以来より、邦画メーカーを中心に業務用市場に関して様々な協議を行ってきており、まさにJVAの歴史と共に歩んできた委員会である。時代と共にビデオソフトの業務使用には様々なビジネス形態が生まれているが、委員会ではこれら業務使用に関する対応を検討すると共に、市場動向の意見交換を行う会議を毎月1回開催している。

業務使用に関する問い合わせに対応するために、「ビデオソフトの業務用使用について」と、各会員社の業務使用契約窓口一覧を協会ホームページで広報している。

⑫ 違法対策部会

部会長：大谷 信義（松竹㈱）

委員：13名

部会は一年間の違法対策実績が集計される4月に開催され、在京委員のほか全国の地区連絡協議会からも委員が出席する。

映像ソフトに係わる著作権侵害行為に対して、早期確認と早期防止に向けた研究・対応に尽力することを活動方針とし、悪質な侵害行為者に対しては、積極的に法的措置を講ずるものとしている。対象とする主な侵害行為は、ファイル共有ソフトを悪用した公衆送信権侵害、インターネットやオークションサイトにおける海賊版の売買、レンタル店による海賊版頒布、セル用DVDのレンタル転用等として、警察庁、各都道府県警察、地区連絡協議会、関係諸団体と連携して違法対策活動を推進している。

⑬ 著作権部会

部会長：桐畑敏春（㈱ポニーキャニオン）

委員：29名

著作権部会は、定款の事業目的のひとつである『知的財産権の擁護確立および施策の推進』を主たる役割とする部会で、次の3つが柱となる。

1. 内外の著作権法制に関する調査・研究
2. 著作権処理に関連する諸問題への対応
3. 知的財産権擁護確立のための広報活動

その役割を果たすため、著作権部会では3つの委員会の活動報告や上記3点に関する課題を検討する会議を毎月1回程度開催している。

⑭ 権利者団体対応委員会（著作権部会）

委員長：深町徳子（㈱ポニーキャニオン）

委員：8名

著作権部会の役割のうち、著作権処理に関連する諸問題の調査研究及び著作権管理事業者等関係団体との協議を主たる役割とする。

⑮ 配信委員会（著作権部会）

委員長：上埜芳被（バンダイビジュアル㈱）

委員：14名

権利者団体対応委員会に各社のネット配信担当者にも参画していただく、権利者団体対応委員会の拡大委員会。ネット配信の権利処理に関連する諸問題の調査研究を行っている。これに関連して動画投稿サイト等に関する諸問題にも対応している。

⑯ 法制度委員会（著作権部会）

委員長：鈴木 裕子（エイベックス・マーケティング㈱）

委員：8名

著作権部会の役割のうち、著作権法制度に関わる諸問題への対処を担う委員会。文化庁文化審議会著作権分科会法制問題小委員会等で審議されている著作権法制度上の課題等の調査研究を行っている。

⑰ 国際部会

部会長：川城 和美（バンダイビジュアル㈱）

委員：13名

海外ビジネスに係わる情報の提供、海外の事業展開における諸問題等についての意見交換を目的として、年1回会議を開催している。4月24日に開催された会議は「クール・ジャパン」をテーマとして、事務局から「ジャパン・コンテンツ ローカライズ&プロモーション支援 助成金」（J-LOP）に関しての説明と、当協会が会員として加盟するコンテンツ海外流通促進機構（CODA）から、「CODAの著作権侵害対応と正規流通促進への取組」のプレゼンテーションが行われ、意見交換では海外の侵害対策に対する要望が多く寄せられた。

⑱ eメディア部会運営委員会

委員長：栗橋三木也（㈱KADOKAWA）

委員：19名

eメディア部会委員を対象としたセミナーの企画・運営を行なう。今年は、マーケティング委員会とともに5年ぶりの米国デジタルメディア最新事情の研修ツアーを企画、実施する。会議開催は、年間5回程度。

⑲ 地区連絡協議会

北海道、東北、中部、関西（西日本を統括）に地区連絡協議会が設置されている。それぞれの地区連では、参加メーカーが持ち回りで幹事を担当し、違法対策部会と連動したレンタル店の調査・啓発キャンペーンを定期的に参加しているほか、レンタル店向けのセミナー、定例会、総会、新年賀詞交歓会、懇親会など、地域に密着した活動が行われている。

2013 年上半期統計調査結果を公表

業務部会統計調査委員会（八十河恒治委員長（株）ポニーキャニオン）は、2013年上半期（1月～6月）の統計調査を実施、その集計結果を9月10日（火）午後1時30分からJVA会議室において開催した記者発表会において発表した。同調査結果は、「報告書Vol.76」の冊子にまとめられ、既に会員社へは送付されている他、一般へも希望があった場合には有料にて頒布している。以下にその内容を抜粋して報告する。

<2013年上半期（1月～6月）の実績について>

1. 今期のビデオソフトの総売上金額は1203億6100万円で前年同期比98.8%となった。

そのうち、ブルーレイの売上金額は396億5000万円で同125.3%と拡大傾向が続いており、全体に占める割合も32.9%と3割を超えた。一方、DVDビデオは807億1100万円で前年同期比89.5%と割り込んだ（表1）。

2. DVDビデオの販売用とブルーレイの販売用を合計した販売用全体の総売上金額は878億500万円で前年同期比103.6%と前年同期を上回ることとなった。一方でDVDビデオのレンタル店用とブルーレイのレンタル店用を合計したレンタル店用全体の総売上金額は319億7200万円で同87.8%となり、販売用市場は伸長しているものの、レンタル店用市場の減少傾向が影響し、全体の売上が前年同期割れとなった。業務用は5億8400万円で前年同期比は83.8%となった。販売用、レンタル店用、業務用の市場別売上金額の割合は73.0：26.6：0.5だった（表4）。

3. 販売用全体の総売上金額に占めるDVDビデオとブルーレイの割合は、57.2：42.8となり、ブルーレイの割合が増してきている。

DVDビデオの販売用売上金額は、502億5200万円で前年同期比91.3%と減少傾向が続いているのに対し、ブルーレイの販売用売上金額は375億5300万円で同126.4%と伸長が続いており、DVDビデオの落ち込みをカバーすることとなった（表2、表3）。

販売用全体の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比1位は『日本のアニメーション（一般向け）』（構成比33.8%）で前年同期比113.8%、2位に『音楽（邦楽）』（同28.8%）で同112.4%といずれも二桁の伸長となり好調が続いている。3位は『洋画』（同9.8%）だが前年同期比は89.1%と割り込んだ。構成比4位の『邦画』（同6.7%）は同143.3%と大きく伸長した。

各ジャンルごとの売上金額におけるブルーレイの構成比では、『日本のアニメーション（一般向け）』が前年同期の69.0%から74.2%に増加、2／3をブルーレイによる売上が占めることとなった。『洋画』は43.2%→47.2%、『邦画』は28.8%→38.0%、『音楽（邦楽）』は13.2%→24.2%とそれぞれのジャンルでブルーレイの割合が高くなってきているが、特に『邦画』や『音楽（邦楽）』では10%程度の上昇となり、ブルーレイへのシフトが加速してきている様子がうかがえる（表5）。

▼表1.ビデオソフトの売上金額と売上数量

	百万円			枚		
	合計金額	構成比	前年同期比	合計数量	構成比	前年同期比
DVDビデオ	80,711	67.1%	89.5%	29,133,116	77.2%	91.3%
ブルーレイ	39,650	32.9%	125.3%	8,606,623	22.8%	120.6%
ビデオソフトの総売上	120,361	100.0%	98.8%	37,739,739	100.0%	96.7%

▼表2.DVDビデオの流通チャネル別売上

	百万円			枚		
	DVDビデオの売上金額			DVDビデオの売上数量		
	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比
販売用（個人向）	50,252	62.3%	91.3%	16,354,794	56.1%	94.3%
レンタル店用（個人向）	29,954	37.1%	86.8%	12,626,960	43.3%	87.7%
業務用	505	0.6%	74.3%	151,362	0.5%	87.9%

▼表3.ブルーレイの流通チャネル別売上

	百万円			枚		
	ブルーレイの売上金額			ブルーレイの売上数量		
	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比
販売用（個人向）	37,553	94.7%	126.4%	7,763,948	90.2%	125.5%
レンタル店用（個人向）	2,018	5.1%	105.3%	820,742	9.5%	87.1%
業務用	79	0.2%	464.7%	21,933	0.3%	415.7%

▼表4.ビデオソフト全体の流通チャネル別売上

	百万円			枚		
	ビデオソフト全体の売上金額			ビデオソフト全体の売上数量		
	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比
販売用（個人向）	87,805	73.0%	103.6%	24,118,742	63.9%	102.5%
レンタル店用（個人向）	31,972	26.6%	87.8%	13,447,702	35.6%	87.7%
業務用	584	0.5%	83.8%	173,295	0.5%	97.6%

4. DVDビデオの販売用の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比1位は38.1%を占める『音楽（邦楽）』だが、前年同期比は98.1%でわずかながら前年同期の実績には及ばなかった。また構成比2位（15.3%）の『日本のアニメーション（一般向け）』も前年同期比94.9%、構成比3位（9.1%）の『洋画』も同82.9%となるなど、主だったジャンルで前年同期を下回った。ほぼ唯一前年同期を上回ったのは『邦画』で124.9%、構成比は7.3%だった（表5）。

5. ブルーレイの販売用の売上金額をジャンル別に見てみると、『日本のアニメーション（一般向け）』が全体の58.7%を占め構成比1位、前年同期比も122.4%と伸長が続いている。前年同期には3位だった『音楽（邦楽）』が205.8%と倍増し構成比2位（16.3%）となり、反対に『洋画』が前年同期比97.4%と割り込み、構成比3位（10.8%）となった。続く『邦画』は前年同期比188.7%と伸長し構成比6.0%を占めて4位となった（表5）。

6. レンタル店用全体の総売上金額に占めるDVDビデオとブルーレイの構成比は、93.7：6.3で、相変わらず圧倒的にDVDビデオが占めている。ブルーレイのレンタル店用は20億1800万円で同105.3%と伸長はしているものの、DVDビデオのレンタル店用売上金額が299億5400万円で同86.8%と落ち込みが大きく、レンタル店用全体も前年同期を割り込むこととなった（表2、表3）。

7. DVDビデオのレンタル店用の売上金額をジャンル別に見てみると、『日本のアニメーション（一般向

▼表5.ビデオソフト全体の販売用ジャンル別

百万円

ジャンル	合計金額	構成比	前年同期比	DVDビデオ	構成比	前年同期比	ブルーレイ	構成比	前年同期比
邦画（TVドラマを除く）	5,899	6.7%	143.3%	3,659	7.3%	124.9%	2,240	6.0%	188.7%
日本のTVドラマ	3,536	4.0%	74.8%	2,583	5.1%	71.7%	953	2.5%	84.5%
洋画（TVドラマを除く）	8,633	9.8%	89.1%	4,562	9.1%	82.9%	4,071	10.8%	97.4%
海外のTVドラマ	2,312	2.6%	92.3%	1,973	3.9%	83.4%	339	0.9%	243.9%
アジアの映画	326	0.4%	37.3%	223	0.4%	34.2%	103	0.3%	46.8%
アジアのTVドラマ	1,780	2.0%	71.9%	1,547	3.1%	70.3%	233	0.6%	85.3%
日本のアニメーション（一般向け）	29,710	33.8%	113.8%	7,673	15.3%	94.9%	22,037	58.7%	122.4%
海外のアニメーション（一般向け）	556	0.6%	56.6%	510	1.0%	66.9%	46	0.1%	20.9%
日本の子供向け（アニメーション）	1,610	1.8%	117.1%	1,402	2.8%	116.4%	208	0.6%	121.6%
日本の子供向け（アニメーション以外）	1,357	1.6%	107.2%	925	1.8%	95.0%	432	1.2%	147.9%
海外の子供向け（アニメーション）	491	0.6%	110.3%	470	0.9%	121.1%	21	0.1%	36.8%
海外の子供向け（アニメーション以外）	4	0.0%	133.3%	4	0.0%	133.3%	0	0.0%	—
音楽（邦楽）	25,268	28.8%	112.4%	19,155	38.1%	98.1%	6,113	16.3%	205.8%
音楽（洋楽）	805	0.9%	42.2%	620	1.2%	39.3%	185	0.5%	56.6%
ビデオカラオケ	19	0.0%	111.8%	19	0.0%	111.8%	0	0.0%	—
芸能・趣味・教養	4,170	4.8%	88.2%	3,776	7.5%	88.1%	394	1.1%	89.7%
スポーツ	209	0.2%	78.9%	208	0.4%	80.9%	1	0.0%	12.5%
学校教育・企業教育・語学教育	88	0.1%	34.5%	87	0.2%	34.1%	1	0.0%	—
成人娯楽	3	0.0%	300.0%	3	0.0%	300.0%	0	0.0%	—
その他	1,029	1.2%	199.0%	853	1.7%	199.8%	176	0.5%	195.6%
計	87,805	100.0%	103.6%	50,252	100.0%	91.3%	37,553	100.0%	126.4%

枚

ジャンル	合計数量	構成比	前年同期比	DVDビデオ	構成比	前年同期比	ブルーレイ	構成比	前年同期比
邦画（TVドラマを除く）	1,486,272	6.2%	121.2%	1,062,559	6.5%	112.0%	423,713	5.5%	152.5%
日本のTVドラマ	417,385	1.7%	77.8%	312,808	1.9%	75.9%	104,577	1.4%	83.9%
洋画（TVドラマを除く）	5,178,932	21.5%	89.7%	3,515,484	21.5%	85.4%	1,663,448	21.4%	100.5%
海外のTVドラマ	952,677	4.0%	94.5%	926,593	5.7%	96.7%	26,084	0.3%	52.5%
アジアの映画	189,726	0.8%	54.6%	156,545	1.0%	56.6%	33,181	0.4%	46.8%
アジアのTVドラマ	163,567	0.7%	66.2%	146,308	0.9%	65.4%	17,259	0.2%	74.0%
日本のアニメーション（一般向け）	6,198,272	25.7%	121.5%	2,194,043	13.4%	100.6%	4,004,229	51.6%	137.1%
海外のアニメーション（一般向け）	387,398	1.6%	72.3%	364,737	2.2%	78.2%	22,661	0.3%	32.5%
日本の子供向け（アニメーション）	616,159	2.6%	100.3%	593,882	3.6%	101.7%	22,277	0.3%	72.8%
日本の子供向け（アニメーション以外）	359,425	1.5%	93.0%	309,374	1.9%	94.9%	50,051	0.6%	83.0%
海外の子供向け（アニメーション）	525,795	2.2%	177.3%	518,612	3.2%	193.0%	7,183	0.1%	25.9%
海外の子供向け（アニメーション以外）	2,582	0.0%	193.8%	2,582	0.0%	193.8%	0	0.0%	—
音楽（邦楽）	5,871,575	24.3%	107.5%	4,644,573	28.4%	97.0%	1,227,002	15.8%	182.1%
音楽（洋楽）	297,342	1.2%	51.9%	239,527	1.5%	49.2%	57,815	0.7%	67.3%
ビデオカラオケ	13,857	0.1%	118.7%	13,604	0.1%	116.6%	253	0.0%	—
芸能・趣味・教養	1,241,894	5.2%	106.2%	1,153,560	7.1%	106.9%	88,334	1.1%	97.7%
スポーツ	59,649	0.3%	89.3%	59,417	0.4%	92.0%	232	0.0%	10.4%
学校教育・企業教育・語学教育	18,281	0.1%	30.0%	17,798	0.1%	29.3%	483	0.0%	386.4%
成人娯楽	419	0.0%	45.9%	419	0.0%	45.9%	0	0.0%	—
その他	137,535	0.6%	136.0%	122,369	0.8%	156.8%	15,166	0.2%	65.6%
計	24,118,742	100.0%	102.5%	16,354,794	100.0%	94.3%	7,763,948	100.0%	125.5%

け)』が前年同期比104.0%と好調で構成比1位(23.0%)となった。前年同期に1位だった『洋画』は前年同期比79.4%と落ち込み構成比2位(18.9%)。『邦画』が前年同期比109.9%と伸長し構成比3位(15.2%)となった。『アジアのTVドラマ』は前年同期比93.9%、『海外のTVドラマ』は同83.5%となり、それぞれ構成比12.9%、11.9%で4位、5位となった(表6)。

DVDビデオのレンタル店用全体の総売上数量はレベニューシェアリングシステムの影響から前年は増加傾向

にあったが、今期は前年同期比87.7%と大きく落ち込むこととなった。数量における構成比1位は23.9%を占める『アジアのTVドラマ』だが前年同期比86.3%、第2位(20.5%)の『洋画』も同75.1%、第3位(17.9%)の『海外のTVドラマ』も同94.1%となった。『日本のアニメーション(一般向け)』は前年同期比108.1%、『邦画』は同103.1%と、金額と同様に伸長した(表6)。

▼表6.ビデオソフト全体のレンタル店用ジャンル別

ジャンル	合計金額	構成比	前年同期比	DVDビデオ	構成比	前年同期比	ブルーレイ	構成比	前年同期比
邦画(TVドラマを除く)	4,999	15.6%	116.1%	4,549	15.2%	109.9%	450	22.3%	272.7%
日本のTVドラマ	1,480	4.6%	43.2%	1,466	4.9%	42.9%	14	0.7%	140.0%
洋画(TVドラマを除く)	6,957	21.8%	82.8%	5,666	18.9%	79.4%	1,291	64.0%	101.9%
海外のTVドラマ	3,556	11.1%	83.3%	3,555	11.9%	83.5%	1	0.1%	10.0%
アジアの映画	245	0.8%	32.1%	226	0.8%	29.9%	19	0.9%	237.5%
アジアのTVドラマ	3,863	12.1%	93.8%	3,861	12.9%	93.9%	2	0.1%	25.0%
日本のアニメーション(一般向け)	7,019	22.0%	103.0%	6,882	23.0%	104.0%	137	6.8%	69.5%
海外のアニメーション(一般向け)	518	1.6%	57.9%	433	1.5%	62.5%	85	4.2%	42.3%
日本の子供向け(アニメーション)	1,185	3.7%	72.8%	1,185	4.0%	74.2%	0	0.0%	0.0%
日本の子供向け(アニメーション以外)	485	1.5%	94.7%	484	1.6%	95.1%	1	0.1%	33.3%
海外の子供向け(アニメーション)	342	1.1%	115.2%	328	1.1%	116.7%	14	0.7%	87.5%
海外の子供向け(アニメーション以外)	0	0.0%	—	0	0.0%	—	0	0.0%	—
音楽(邦楽)	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	—
音楽(洋楽)	1	0.0%	2.3%	1	0.0%	2.3%	0	0.0%	—
ビデオカラオケ	0	0.0%	—	0	0.0%	—	0	0.0%	—
芸能・趣味・教養	1,044	3.3%	118.1%	1,040	3.5%	117.6%	4	0.2%	—
スポーツ	3	0.0%	300.0%	3	0.0%	300.0%	0	0.0%	—
学校教育・企業教育・語学教育	0	0.0%	—	0	0.0%	—	0	0.0%	—
成人娯楽	0	0.0%	—	0	0.0%	—	0	0.0%	—
その他	275	0.9%	572.9%	275	0.9%	572.9%	0	0.0%	—
計	31,972	100.0%	87.8%	29,954	100.0%	86.8%	2,018	100.0%	105.3%

ジャンル	合計数量	構成比	前年同期比	DVDビデオ	構成比	前年同期比	ブルーレイ	構成比	前年同期比
邦画(TVドラマを除く)	1,372,748	10.2%	109.5%	1,231,671	9.8%	103.1%	141,077	17.2%	238.8%
日本のTVドラマ	564,037	4.2%	62.2%	559,810	4.4%	62.0%	4,227	0.5%	125.7%
洋画(TVドラマを除く)	3,160,756	23.5%	76.4%	2,592,875	20.5%	75.1%	567,881	69.2%	82.6%
海外のTVドラマ	2,256,024	16.8%	93.7%	2,256,012	17.9%	94.1%	12	0.0%	0.1%
アジアの映画	157,790	1.2%	37.7%	145,305	1.2%	35.7%	12,485	1.5%	111.9%
アジアのTVドラマ	3,012,002	22.4%	86.3%	3,011,896	23.9%	86.3%	106	0.0%	20.7%
日本のアニメーション(一般向け)	1,571,992	11.7%	108.8%	1,517,359	12.0%	108.1%	54,633	6.7%	128.9%
海外のアニメーション(一般向け)	94,857	0.7%	35.6%	62,825	0.5%	39.5%	32,032	3.9%	29.9%
日本の子供向け(アニメーション)	348,048	2.6%	81.7%	348,048	2.8%	82.9%	0	0.0%	0.0%
日本の子供向け(アニメーション以外)	129,053	1.0%	91.7%	128,155	1.0%	95.0%	898	0.1%	15.7%
海外の子供向け(アニメーション)	264,171	2.0%	233.8%	256,818	2.0%	244.0%	7,353	0.9%	94.7%
海外の子供向け(アニメーション以外)	27	0.0%	385.7%	27	0.0%	385.7%	0	0.0%	—
音楽(邦楽)	66	0.0%	89.2%	66	0.0%	89.2%	0	0.0%	—
音楽(洋楽)	37	0.0%	0.1%	35	0.0%	0.1%	2	0.0%	22.2%
ビデオカラオケ	10	0.0%	—	0	0.0%	—	10	0.0%	—
芸能・趣味・教養	351,066	2.6%	120.7%	351,057	2.8%	121.2%	9	0.0%	0.7%
スポーツ	10,352	0.1%	34506.7%	10,335	0.1%	34450.0%	17	0.0%	—
学校教育・企業教育・語学教育	308	0.0%	1466.7%	308	0.0%	1466.7%	0	0.0%	—
成人娯楽	1	0.0%	—	1	0.0%	—	0	0.0%	—
その他	154,357	1.2%	1204.9%	154,357	1.2%	1204.9%	0	0.0%	—
計	13,447,702	100.0%	87.7%	12,626,960	100.0%	87.7%	820,742	100.0%	87.1%

臨時總會及び、第326回臨時理事会、 第327回定例理事会開催報告

●臨時總會開催報告

9月3日（火）午後2時より、当協会会議室において臨時總會を開催し、以下の決議を行った。当日の出席者は、正会員33社のうち、29社（委任状出席者2名及び議決権行使書提出者11名を含む）が出席し、いずれの議案も全会一致で承認された。

第1号議案 役員補欠選任に関する件・・・承認

伊藤和明理事及び佐藤寿美理事の辞任に伴い、後任理事に柏木登氏（株式会社バップ 代表取締役社長執行役員）及び今井環氏（株式会社NHKエンタープライズ 代表取締役社長）を選任。

第2号議案 収支予算書変更（案）承認の件・・・承認

主たる事務所の移転に伴い、その移転費用8,000,000円を支出計上し、法人税、住民税及び事業税を647,000円減額する内容の変更案を承認。

●第326回臨時理事会、第327回定例理事会開催報告

9月3日（火）午後2時から開催された臨時總會への提案事項のうち収支予算変更（案）について、8月20日までに理事全員の同意と監事の異議なき旨の意思表示があり、決議の省略（書面による決議）による第326回臨時理事会で収支予算変更（案）を承認した。

第327回定例理事会は、9月3日（火）臨時總會終了後の午後2時10分より協会会議室において開催された。議事要旨は次の通り。

決議事項

第1号議案 アスミック・エース（株）正会員入会の件・・・承認

第2号議案 「オーディオ・ホームシアター展2013」に対する後援名義使用承認の件・・・承認

第3号議案 「MPTE AWARDS 2013」に対する後援名義使用承認の件・・・承認

第4号議案 「TFFCOM2013」に対する後援名義使用承認の件・・・承認

第5号議案 「第7回ブロードバンド特別シンポジウム」に対する共催名義使用承認の件・・・承認

第6号議案 「JAVCOM No.137セミナー」に対する後援名義使用承認の件・・・承認

その他、報告事項は次の通り。

各部会・委員会報告について、2013年上半期統計調査報告書について、2013年6月度・7月度ビデオソフト売上速報について、2013年度7月度映像配信売上について。

違法対策活動

ANTI-PIRACY

7月、8月の違法対策活動報告

7月、8月のビデオレンタル店を中心とした違法行為の調査活動は、北海道、青森県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、東京都、富山県、石川県、長野県の165店の調査・折衝を行った。このうち廃業等の128店を除き実質的に営業していた37店のうち、セル用商品のレンタル転用が13件確認された。違法行為の確認率は35%となった。

7月～8月 実地調査による調査実績

調査店	165店
営業店数	37店
違法行為	海賊版所持
確認件数	0件
	セル用商品のレンタル転用
	13件
海賊版確認数	0枚
刑事告訴事件数	4件
警察による海賊版押収本数	0枚
違法行為確認率	35%

調査状況一覧表

調査地区	内 訳			海賊版・サンプル頒布所持			セル商品のレンタル転用
	許諾店	無許諾	廃業等	所持店	確認数	回収数	
北海道	6		15				3
青森県	1						
茨城県	7	2	19				5
栃木県	3		6				
群馬県	1						1
千葉県	1						1
東京都	3		82				1
富山県		1					1
石川県	4		5				
長野県	5	3	1				1
合 計	31	6	128	0	0	0	13

知的財産保護のための広報啓発ポスター・リーフレット 「STOP!ネットでの知的財産権侵害」を作成

不正商品対策協議会では、「知的財産権の保護と不正商品の排除」を目的とした広報・啓発ポスターとリーフレットを製作した。最近深刻化するインターネット上の著作権侵害や偽ブランド販売等に関し、若年層を対象に「違法アップロードや違法ダウンロード、偽ブランドの購入等をしない」よう広く訴えかけている。今回も全国の警察署や税関などに配布して、各所にて掲示・配布いただくほか、不正商品対策協議会のイベントや展示会への出展等でも掲示・配布する。

また、不正商品対策協議会では、第2回目となる「著作権を守ろう！ポスターコンクール」を実施、小学4年生から中学生を対象に9月26日(木)を締切として募集を行った。表彰は本年11月10日(日)にベルサール秋葉原において開催される不正商品対策協議会主催の『ほんと？ホント！フェアin東京』のイベントにおいて行う予定。

ポスターやポスターコンクールについてのお問い合わせは、不正商品対策協議会 小林(03-3542-2010)まで。



◀ 広報・啓発ポスター

製作・著作 不正商品対策協議会

※このポスターは(公財)日工組社会安全財団からの助成により作成したものです。

CODA コンテンツ海外流通促進機構

インドネシア知財総局長ら来日、意見交換

8月21日、文化庁の招聘により来日したインドネシア知的財産総局のラムリ総局長らに対して、CODAの活動を紹介するプレゼンテーションを行い、意見交換を実施した。

文化庁では、著作権の集中管理やデジタル環境での権利保護などに関する日本政府の施策や団体の活動の情報提供などを行うことで、インドネシアでのコンテンツ保護の促進を支援するため、今回の招聘事業を実施した。

当日は、不正商品対策協議会(ACA)と共同で、来日したラムリ総局長、ユスリサル著作権担当局長、アゲン法務課長の3人に、それぞれの組織と活動の概要を紹介。

意見交換では、ラムリ総局長より、インドネシアでは、かねてから日本コンテンツは憧れであり人気であると説明。現地の著作権侵害の状況については、政府も大規模な摘発などを実施して対応に努力していること、「クリエイティブ産業の保護・育成」を重要な国策の一つとして掲げており、小学生以上を対象とした啓発なども進めていること等を話された。

また、インドネシアでは現在、著作権法の改正作業に

入っており、改正条文には、ショッピングモールなどについて、出店者が海賊版販売をしていることを知っていた場合、放置していたモールの経営者にも罰金を科す規定などが盛り込まれているとの説明がされた。

CODAでは今年度、インドネシア、タイ、ベトナムに関連して、現地でのイベント開催や著作権保護状況の調査などの事業を文化庁、経済産業省、総務省より受託しており、この日は、インドネシア政府の担当部門との関係構築を行うまたとない機会となった。(CODA事務局)



主要各国の映画、ビデオソフト、映像配信市場のデータ

主要各国の関係機関から2012年の映画、ビデオソフト、映像配信の市場に関するデータが発表されている。国により公表されている項目が必ずしも一致はしていないが、ここに日本、米国、英国、フランス、ドイツの市場データをまとめて掲載する。なお、データの出典は右のとおり。

- ※1 国連経済社会局人口部『世界の人口推計2012』
- ※2 外務省経済局調査室（13年6月）
- ※3 一般社団法人日本映画製作者連盟
- ※4 一般社団法人日本映像ソフト協会
- ※5 MPAA Theatrical Market Statistics 2012
- ※6 Digital Entertainment Group
- ※7 British Film Institute
- ※8 Centre national de la cinématographie（CNC）
- ※9 Filmförderungsanstalt（FFA）
- ※10 Bundesverband Audiovisuelle Medien e V.（BVV）

空欄はデータなし

		日 本				
		2012年	前年比	2011年	2010年	
映画	興行収入	1951億9000万円	107.7%	1811億9700万円	2207億3700万円	※3
	公開本数	983本	123.0%	799本	716本	※3
	入場人員	1億5516万人	107.2%	1億4473万人	1億7436万人	※3
	平均入場料	1,258円	100.5%	1,252円	1,266円	※3
	スクリーン数	3,290スクリーン	98.5%	3,339スクリーン	3,412スクリーン	※3
	(デジタルシネマ対応スクリーン数)	2,897スクリーン	145.8%	1,987スクリーン	980スクリーン	
映像ソフト	セル市場(All Formats, 消費者レベル)	2413億円(a)	97.3%	2479億円(a)	2635億円(a)	※4
	レンタル市場(All Formats, 消費者レベル)	2389億円(b)	94.0%	2542億円(b)	2672億円(b)	※4
	合計(セル+レンタル)	4802億円	95.6%	5021億円	5307億円	※4
	メーカー出荷	セル用 1827億600万円(c) レンタル用 745億1200万円(d)	101.1% 94.1%	セル用 1806億3300万円(c) レンタル用 791億7600万円(d)	セル用 1850億8700万円(c) レンタル用 804億300万円(d)	※4 ※4
	備考	(a) DVD 66.3%、BD 33.7%		(a) DVD 72.2%、BD 27.8%	(a) DVD 78.5%、BD 21.5%	※4
		(b) DVD 92.3%、BD 7.7%		(b) DVD 91.3%、BD 8.7%	(b) DVD 95.3%、BD 4.7%	※4
		(c) DVD 63.0%、BD 37.0%		(c) DVD 68.1%、BD 31.9%	(c) DVD 75.8%、BD 24.2%、UMD 0.0%	※4
		(d) DVD 94.7%、BD 5.3%		(d) DVD 96.3%、BD 3.7%	(d) DVD 97.1%、BD 2.9%	※4
基本情報	人口	1億2750万人		1億2780万人	1億2810万人	※1
	GDP(12年は成長率)	2.0%		5兆8672億ドル	5兆4978億ドル	※2
	為替相場(1ドル当たり・期中平均)	79.79円		79.81円	87.78円	※2

		北 米				
		2012年	前年比	2011年	2010年	
映画	興行収入	108億ドル(8617億円)	105.9%	102億ドル	106億7000万ドル	※5
	公開本数	677本	111.2%	609本	563本	※5
	入場人員	13億6000万人	106.3%	12億8000万人	13億4000万人	※5
	平均入場料	8.0ドル(638円)	101.3%	7.9ドル	7.9ドル	※5
	スクリーン数	39,918スクリーン	100.7%	39,641スクリーン	39,547スクリーン	※5
	(デジタルシネマ対応スクリーン数)	33,531スクリーン	130.9%	25,621スクリーン	14,735スクリーン	※5
映像ソフト	セル市場(All Formats, 消費者レベル)	8,462百万ドル(6752億円)	94.5%	8,952百万ドル	10,321百万ドル	※6
	レンタル市場(All Formats, 消費者レベル)	4,412百万ドル(3520億円)	87.9%	5,017百万ドル	5,851百万ドル	※6
	合計(セル+レンタル)	12,874百万ドル(1兆2722億円)	92.2%	13,969百万ドル	16,172百万ドル	※6
配信	EST	812百万ドル(648億円)	134.7%	603百万ドル	508百万ドル	※6
	VOD	1,977百万ドル(1577億円)	110.8%	1,784百万ドル	1,752百万ドル	※6
	Subscription Streaming	2,337百万ドル(1865億円)	145.8%	1,603百万ドル		※6
	合計(EST+VOD)	5,126百万ドル(4090億円)	128.5%	3,990百万ドル	2,260百万ドル	※6
基本情報	人口	3億1580万人		3億1310万人	3億1040万人	※1
	GDP(12年は成長率)	2.2%		15兆940億ドル	14兆5824億ドル	※2
	為替相場(1ドル当たり・期中平均)	79.79円		79.81円	87.78円	※2

	英 国					
		2012年	前年比	2011年	2010年	
映画	興行収入	1,099百万ポンド(1394億円)	105.7%	1,040百万ポンド	988百万ポンド	※7
	公開本数	647本	99.8%	558本	557本	※7
	入場人員	1億7250万人	100.5%	1億7160万人	1億6920万人	※7
	平均入場料	6.37ポンド(808円)	105.1%	6.06ポンド	5.84ポンド	※7
	スクリーン数	3,817スクリーン	101.3%	3,767スクリーン	3,671スクリーン	※7
	(デジタルシネマ対応スクリーン数)	3,538スクリーン	130.4%	2,714スクリーン	1,415スクリーン	※7
映像ソフト	セル市場(All Formats,消費者レベル)	1,543百万ポンド(1958億円) (a)	88.2%	1,749百万ポンド(a)	1,839百万ポンド(a)	※7
	レンタル市場(All Formats,消費者レベル)	229百万ポンド(291億円)	93.1%	246百万ポンド	253百万ポンド	※7
	販売枚数(All Formats,消費者レベル)	1億7900万枚(b)	86.5%	2億700万枚(b)	2億2300万枚(b)	※7
	レンタル枚数(All Formats,トランザクション数)	7800万枚・回	90.7%	8600万枚・回	8400万枚・回	※7
	備考			(a) DVD 87%、BD 12.7% (b) DVD 92%、BD 7.4%	(a) BD 10.8% (b) BD 5.8%	※7
配信	TV based VOD	121.3百万ポンド(154億円)	112.8%	107.5百万ポンド	105.2百万ポンド	※7
	Online VOD	121.7百万ポンド(154億円)	222.9%	54.6百万ポンド	39.5百万ポンド	※7
	合計	243.0百万ポンド(308億円)	150.0%	162.1百万ポンド	144.7百万ポンド	※7
基本情報	人口	6280万人		6240万人	6200万人	※1
	GDP(12年は成長率)	0.2%		2兆4316億ドル	2兆2461億ドル	※2
	為替相場(1ドル当たり・期中平均)	1.59ポンド		1.60ポンド	1.55ポンド	※2

	フランス					
		2012年	前年比	2011年	2010年	
映画	興行収入	1,305.6百万ユーロ(1344億円)	95.0%	1,373.9百万ユーロ	1,308.9百万ユーロ	※8
	公開本数	615本	103.5%	594本	579本	※8
	入場人員	2億344人	93.7%	2億1707万人	2億695万人	※8
	平均入場料	6.42ユーロ(661円)	101.4%	6.33ユーロ	6.32ユーロ	※8
	スクリーン数	5,502スクリーン	100.7%	5,466スクリーン	5,465スクリーン	※8
	(デジタルシネマ対応スクリーン数)	5,016スクリーン	139.3%	3,600スクリーン	1,820スクリーン	※8
映像ソフト	セル市場(All Formats,消費者レベル)	1,116百万ユーロ(1149億円) (a)	91.3%	1,223百万ユーロ(a)	1,385百万ユーロ(a)	※8
	レンタル市場(All Formats,消費者レベル)					
	販売枚数(All Formats,消費者レベル)	1億1994万枚(b)	93.2%	1億2876万枚(b)	1億4413万枚(b)	※8
	レンタル枚数(All Formats,トランザクション数)					
	備考	(a) DVD 80.0%、BD 20.0% (b) DVD 88.3%、BD 11.7%		(a) DVD 83.3%、BD 16.7% (b) DVD 90.2%、BD 9.8%	(a) DVD 87.5%、BD 12.5% (b) DVD 93.3%、BD 6.7%	※8
配信	VOD(IPTV)			155.8百万ユーロ(173億円)	130.2百万ユーロ	※8
	VOD(PC)			63.7百万ユーロ(71億円)	21.8百万ユーロ	※8
	VOD合計	251.7百万ユーロ(259億円)	114.7%	219.5百万ユーロ(244億円)	152.0百万ユーロ	※8
基本情報	人口	6350万人		6310万人	6280万人	※1
	GDP(12年は成長率)	0.0%		2兆7730億ドル	2兆5600億ドル	※2
	為替相場(1ドル当たり・期中平均)	1.29ユーロ		1.39ユーロ	1.33ユーロ	※2

	ドイツ					
		2012年	前年比	2011年	2010年	
映画	興行収入	1,033百万ユーロ(1063億円)	107.8%	958百万ユーロ	920百万ユーロ	※9
	公開本数					※9
	入場人員	1億3510万人	104.2%	1億2960万人	1億2660万人	※9
	平均入場料	7.65ユーロ(787円)	103.5%	7.39ユーロ	7.27ユーロ	※9
	スクリーン数	4,617スクリーン	99.5%	4,640スクリーン	4,699スクリーン	※9
	(デジタルシネマ対応スクリーン数)					
映像ソフト	セル市場(All Formats,消費者レベル)	1,364百万ユーロ(1404億円) (a)	97.8%	1,394百万ユーロ(a)	1,380百万ユーロ(a)	※10
	レンタル市場(All Formats,消費者レベル)	222百万ユーロ(229億円) (b)	96.1%	231百万ユーロ(b)	241百万ユーロ(b)	※10
	販売枚数(All Formats,消費者レベル)	1億1250万枚・回(c)	95.0%	1億1840万枚・回(c)	1億1540万枚(c)	※10
	レンタル枚数(トランザクション数,含VOD&PPV)			1億500万枚・回(d)	1億170万枚(d)	※10
	備考	(a) DVD 74.9%、BD 25.1% (b) DVD 77.9%、BD 22.1% (c) DVD 79.5%、BD 20.5%		(a) DVD 81.2%、BD 18.8% (b) DVD 84.0%、BD 16.0% (c) DVD 85.5%、BD 14.5% (d) Digital分の9%を含む	(a) DVD 86.4%、BD 13.6% (b) DVD 90.0%、BD 10.0% (c) DVD 89.6%、BD 10.4% (d) Digital分の6%を含む	※10
配信	EST	46百万ユーロ(47億円)	139.4%	33百万ユーロ	22百万ユーロ	※10
	SVOD	22百万ユーロ(23億円)	169.2%	13百万ユーロ		※10
	TVOD	55百万ユーロ(57億円)	171.9%	32百万ユーロ	21百万ユーロ	※10
	合計	123百万ユーロ(127億円)	157.7%	78百万ユーロ	43百万ユーロ	※10
基本情報	人口	8200万人		8220万人	8230万人	※1
	GDP(12年は成長率)	0.9%		3兆5706億ドル	3兆3097億ドル	※2
	為替相場(1ドル当たり・期中平均)	1.29ユーロ		1.39ユーロ	1.33ユーロ	※2



エイベックス・グループ・ホールディングス(株) 鈴木裕子氏からのご紹介

●小澤 潤子 氏(東宝(株)映像本部映像事業部業務室長)

「故郷はいずこへ。」

それはかれこれ何十年前、私が小学生の頃、夏休みの予定を友人と話しているときに、「田舎のおばあちゃんの家に遊びに行くんだ〜」と友人から聞く度に、父母共に東京出身だった私にはとても羨ましく「私も東京じゃないところに故郷が欲しいなあ。」と思うようになりました。

そんな小学生時代からかれこれ何十年を経た現在ですが、2002年からほぼ毎年訪れている国があります。休日のお昼にぼんやりとTVを観ていたら、ブラウン管から飛び込んできた映像は、その国が発祥であるスチールドラムというドラム缶から出来た楽器のパノラマという一大イベントでした。楽器はどう見てもドラム缶なのですが、音階あり、缶の長さによって高音・低音があり、独特のリズムと音楽で何やら木の棒でキラキラした楽器を楽しそうに演奏している姿が強烈に印象に残ったのでした。世界には3大カーニバルと呼ばれているお祭りがあるのを皆さんご存知でしょうか？一つはとても有名なりオのカーニバル、それからイタリア・ベネチアのカーニバル、残り一つがトリニダード&トバゴ共和国のそれです。私がTVで最初に観たパノラマというスチールドラムのお祭りなりオのカーニバルのような仮装をして町を練り歩いたりするお祭りもあり、国の大きさは千葉県位の面積ながら、やっていることはりオのカーニバル縮小版とでも言いましょうか。人種も色々ミックスされていて、一番多いのはアフリカ系とインド系の混血で日本人はほとんど見かけません。パノラマの演奏者は殆どがアマチュアです、大きいバンドだと人数も120名を超え、職業も年齢もまちまちです。普段は普通のサラリーマンでもパノラマに向け、夜な夜な練習場に集まり、深夜まで毎日練習し、昼間は働くという人が大多数です。

屋外の練習場なので、近所の住人にはその音色が思い切り響いてきますが、住人は怒るでもなく、その音色を更に近

くで聴こうと練習場にやってきて、夜風にあたり演奏を聴きながらビールを一瓶。この国では老若男女、分け隔てなく皆がカリブソやソカという同じジャンルの音楽を聴いて育ち、腰を振って踊るという共通の楽しみ方です(その振りっぷりは尋常ではありません!)。その曲をスチールパンに合わせて編曲したりして、私が最初にTVで観たパノラマでその演奏を年に一度バンド同士で競うのです。

最初の渡航では知り合いもおらず、情報が乏しく苦労しましたが、日本から30時間もかかる遠い国までの旅を共にしてくれる友人も見つかり、休暇も取れ、晴れて彼の地へ旅立つことが出来たのは本当に幸運だったと思っています。

住環境は決して日本のように快適でも安全でもありませんが、カーニバルの季節になると気持ちがそわそわし、無理やりスケジュールを調整してでも渡航するのは、カーニバルの麻薬的な楽しさと宿泊先でお世話になるホストファミリーに年に1度は会いに帰りたいのが大きな目的です。最初に渡航した帰りの飛行機では現在の楽器の師匠にも巡り会え(でも夫ではありません)、その頃はティーンエイジャーだった現地の子供たちも今や立派な大人に成長し、父になり、母になっている訳で完全に彼らに追い越されているおばちゃんですが「ハヤク、ジュンコモヨメニケヨ」と日本でも海外でも言われながら、ここ10年は甘えさせてもらっている状態です。こんな訳で、毎年2月から3月にかけて行われるカーニバルですが、「最近姿を見かけないなあ」と思ったら、温かく見守ってやってください。

こんなに遠いところじゃなくとも良かったんじゃないかと時々思うのですが、更に遠くを目指すうちは南米・アフリカ大陸には足を踏み入れ無いままではいかんと思っていますので更に遠くを目指して私の故郷探しの旅は続きます・・・。

▼日誌に見る協会の動き

[8月]

- 6日 ACAフェア・シンポジウム打合せ
- 6日 DEGとのユーザ調査に関する合同ミーティング
- 6日 eメディア部会運営委員会打合せ
- 21日 ネットワーク音楽著作権連絡協議会(NMRC)
- 21日 インドネシア知財局長との会合
- 22日 業務部会幹事会

22日 権利者団体対応委員会

26日 ACAシンポジウム打合せ

[9月]

- 3日 臨時総会
- 3日 定例理事会
- 3日 eメディア部会運営委員会
- 4日 法制度委員会
- 4日 マーケティング委員会

6日 著作権部会

10日 上半期統計調査記者発表

10日 総合連絡委員会

11日 DEGとのユーザ調査に関する合同ミーティング

13日 業務使用対策委員会

17日 ACA企画広報部会

26日 統計調査委員会

26日 業務部会幹事会

統計

2013年7月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	7 月 実 績									1 月 ～ 7 月 の 累 計							
	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同月比	新作数	前年 同月比	売上金額の 増減社数	金 額	構成比	前年 同期比	数 量	構成比	前年 同期比	新作数	前年 同期比
販売用	8,090	60.9%	86.0%	2,983	53.5%	98.1%	521	102.6%	増 減 11社 19社 その他 2社	58,342	62.1%	90.6%	19,338	55.7%	94.9%	3,776	100.2%
レンタル店用	5,129	38.6%	73.8%	2,562	45.9%	84.8%	674	114.0%		35,083	37.3%	84.7%	15,189	43.8%	87.2%	4,321	94.3%
業務用	74	0.6%	60.7%	31	0.6%	54.1%	15	38.5%		579	0.6%	72.2%	182	0.5%	79.4%	183	82.4%
DVDビデオ	13,293	58.8%	80.7%	5,576	73.1%	91.1%	1,210	106.3%		94,004	65.7%	88.1%	34,709	76.5%	91.3%	8,280	96.6%
販売用	8,907	95.5%	142.2%	1,852	90.3%	128.9%	278	128.1%	増 減 17社 11社 その他 4社	46,460	94.9%	129.1%	9,616	90.2%	126.1%	1,860	114.1%
レンタル店用	415	4.5%	98.3%	195	9.5%	107.6%	54	114.9%		2,433	5.0%	104.1%	1,016	9.5%	90.4%	309	87.5%
業務用	3	0.0%	150.0%	4	0.2%	644.7%	0	－		82	0.2%	431.6%	26	0.2%	438.4%	10	333.3%
ブルーレイ	9,325	41.2%	139.4%	2,051	26.9%	126.7%	332	125.8%		48,975	34.3%	127.8%	10,658	23.5%	121.8%	2,179	109.7%
合 計	22,618	100.0%	97.6%	7,628	100.0%	98.5%	1,542	110.0%		142,979	100.0%	98.6%	45,367	100.0%	97.0%	10,459	99.1%

◎今月の売上報告社数……31社(*前年同月の報告社数31社) 無回答社……2社 ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合
 ◎DVDビデオおよびブルーレイの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。
 ◎累計値には、1月～6月の数字として、2013年上半期調査の数字を用いている。

2013年8月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	8 月 実 績									1 月 ～ 8 月 の 累 計							
	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同月比	新作数	前年 同月比	売上金額の 増減社数	金 額	構成比	前年 同期比	数 量	構成比	前年 同期比	新作数	前年 同期比
販売用	5,322	51.6%	66.6%	2,124	45.1%	87.4%	482	99.6%	増 減 11社 19社 その他 2社	63,664	61.0%	87.9%	21,462	54.4%	94.1%	4,258	100.2%
レンタル店用	4,917	47.6%	94.4%	2,511	53.3%	100.8%	535	97.3%		40,000	38.3%	85.7%	17,700	44.9%	88.9%	4,856	94.6%
業務用	80	0.8%	92.0%	74	1.6%	401.0%	10	25.0%		659	0.6%	74.1%	256	0.7%	103.4%	193	73.7%
DVDビデオ	10,319	61.7%	77.7%	4,709	76.6%	95.3%	1,027	95.6%		104,323	65.3%	87.0%	39,419	76.5%	91.7%	9,307	96.5%
販売用	6,031	94.3%	138.3%	1,288	89.6%	135.4%	239	100.8%	増 減 16社 12社 その他 4社	52,491	94.8%	130.1%	10,905	90.1%	127.2%	2,099	112.4%
レンタル店用	359	5.6%	116.9%	145	10.1%	106.9%	17	36.2%		2,792	5.0%	105.6%	1,161	9.6%	92.2%	326	81.5%
業務用	6	0.1%	300.0%	4	0.3%	110.3%	0	－		88	0.2%	419.0%	30	0.2%	304.1%	10	333.3%
ブルーレイ	6,396	38.3%	136.9%	1,438	23.4%	131.8%	256	90.1%		55,371	34.7%	128.8%	12,096	23.5%	122.9%	2,435	107.3%
合 計	16,715	100.0%	93.1%	6,147	100.0%	101.9%	1,283	94.5%		159,694	100.0%	98.0%	51,515	100.0%	97.5%	11,742	98.5%

◎今月の売上報告社数……32社(*前年同月の報告社数31社) 無回答社……1社 ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合
 ◎DVDビデオおよびブルーレイの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。
 ◎累計値には、1月～6月の数字として、2013年上半期調査の数字を用いている。

JVA事務所移転のお知らせ

当協会は事務所を下記住所に移転する予定です。
 現所在地から1分ほどの場所となりますので、業務開始以降、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。
 会員社、関係各位の皆様には、後日改めて書面にてご案内いたします。

新住所 〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24
 第29興和ビル別館2階
 TEL 03-3542-4433 FAX 03-3542-2535
 (TEL番号、FAX番号の変更はありません)

業務開始予定日 2013年12月2日(月)



地下鉄「築地」駅徒歩3分
 地下鉄「新富町」駅徒歩5分

一般社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2013年10月1日現在

■ 正会員(33 社)

アスミック・エース(株)
(株)アニプレックス
アミューズソフトエンタテインメント(株)
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・マーケティング(株)
(株)エスピーオー
(株)NHK エンタープライズ
(株)KADOKAWA
ギャガ(株)
キングレコード(株)
ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)
(株)小学館
(株)ショウゲート
松竹(株)
(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
(株)第一興商
TCエンタテインメント(株)
東映ビデオ(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
(株)東北新社
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
日活(株)
(株)バップ
(株)ハピネット
パラマウント ジャパン(同)
バンダイビジュアル(株)
ビクターエンタテインメント(株)
(株)ポニーキャニオン
ユニバーサルミュージック(同)
(株)よしもとアール・アンド・シー
ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

■ 協賛会員(19 社)

(株)一丸印刷所
(株)IMAGICA
カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)
(株)キュー・テック
(株)金羊社
(株)ケンメディア
(株)ジャパン・ディストリビューション
システム
(株)星光堂
ソニー PCL (株)
大日本印刷(株)
東芝デジタルフロンティア(株)
東洋レコーディング(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
日本出版販売(株)
日本レコードセンター(株)
ビクタークリエイティブメディア(株)
(株)富士フィルムメディアクレスト
(株)ムービーマネジメントカンパニー
メモリーテック(株)